

施策2-1-1 学力向上対策の推進

担当課 教育総務課

施策が実現できたときの状態

・学校教育において児童生徒が身に付けなければならない「確かな学力」とは、関心・意欲・態度、判断力、問題発見能力、問題解決能力などを含めた総合的な学力です。県が実施している「学習定着度状況調査」等がそれらの全ての力を網羅しているとは考えていませんが、「学習定着度状況調査」等で把握することができる学力も学力の重要な一部であることから、施策の実現状況を明らかにするための目標値と位置付けています。

＜施策が実現できたときの状態＞

- ・県が実施する「岩手県学習定着度状況調査」において、小・中学校ともに県平均全体正答率を上回っています。
- ・市が実施する「標準学力検査（NRT）」において、小・中学校ともに全国標準を上回っています。

平成26年度の重点課題

- ・ALTの英語活動における現在の指導体制を維持します。
- ・地域の人的資源を活用できるものについては、積極的にその活用を図ります。（ラーニングサポーター・盛岡大）
- ・国や県が実施した調査結果について、市の課題を教育委員会と学校とで共有するとともに、教育委員会が適切に関わりながら学校毎に具体的取組を進めます。

施策の達成（実現）に向けた今後3カ年の取り組みと方針

- ・児童生徒の学力向上については、滝沢市の最重要課題と位置付けて、取組の充実に努めます。
- ・「ラーニング・サポーター・プロジェクト事業」により、大学生を活用し個別指導の充実に努めます。
- ・学力・学習状況調査等の実施により、児童生徒の実態把握に努めます。
- ・小学校英語活動においてALTが直接指導する体制を維持します。

施策目標値の達成状況



